

「中学生まで医療費の無料化」

特別委員会報告

を市長に提言

定住人口増加促進特別委員会

市長への提言

- 1 空き家調査・空き家バンクに係る職員を増員し、事業を推進すること。
- 2 全園での11時間保育の実施、待機児童ゼロの取り組みや保育士の増員を。
- 3 中学生まで医療費を無料に。小児科医の確保、小児科医院の設置に尽力すること。

高知県宅地建物取引業協会にて研修

8月16日、公益団法人高知県宅地建物取引業協会を訪問。約2時間、市街化調整区域などに関する現状と課題を研修した。
今一番の問題点は市街化調整区域であり、

昭和45年に線引きが実施されるまでの宅地の売買が大きな課題である。例えば、高知市の津波災害浸水が予想される地域の住人が、避難のために本市の線引き以前の宅地を購入希望しても、購入することができない。
購入の意思を県に申請すると「現在、持ち家があるから」などの理由で申請を拒否された。また、「あらかじめ避難するため」などは、理由として認められなかったそうである。さらに、移住促進の対象者であっても、空き家を貸し家とすることができない。
宅建協会によれば、3・11東日本大震災以降、高知市周辺の浸水被害予想地域の方々が、本市への移住を希望する事例が多くなっている。



説明を受けた後、意見交換では「市街化調整区域は、時代がどのように変化しようとも、見直す余地が全くないものか。国・県は、もう少し柔軟性を持って欲しい。」
「調整区域の見直しは、協会・行政・議会が一つになり、県や国に意見書を提出していくと共に、県議会も動かさなくてはいけない。」
今後さらに研究の必要がある。などの意見が出された。

行財政改革推進特別委員会

市税等の滞納整理

給食費の滞納整理は、平成24年度当初、滞納者は129人、滞納額は738万757円である。請求月ごとに時効管理は行っている。
24年度は、配達証明付内容証明郵便による催告書送付35件、支払い督促13件、差押さえ5件を行う。
保育料の滞納整理は、平成22年度1700万円超の滞納額は24年度末1100万円まで減少。要因の第一は差押さえである。
説明を受けたのち質疑を行った。



旧さくら保育園跡地

滞納者129名中21名は支払督促に至るまでに完納。
保育料の滞納については保育士に知らせていないとのこと。保育サービスの提供と徴収は別途との見解。

市有財産の管理・活用

旧さくら保育園の跡地は、自治会より土地の一部を集会所建築の敷地に利用したいとの要望があり、土地の使用料を自治会に提示し、自治会にて建築について協議検討中である。